

横浜市の私鉄駅前で市街地広報 『はまにゃん』も募集広報の一翼を担う！

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原一陸尉）は、10月20日（火）、横浜市の鶴ヶ峰駅前で早朝と夕方の2回に分けて市街地広報を実施した。この駅は1日乗降客数が約6万人で、地域高校3校の最寄駅でもある。

今回は、自衛官候補生の志願者情報の獲得と自衛隊の広報を目的に、神奈川県本キャラクター『はまにゃん』にも協力してもらい、声掛けとティッシュ配りなどを行った。前日までの長雨の天候とは打って変わり、当日は秋空の日差しを受ける爽やかな日和となった。はまにゃんが駅前に登場すると早速、小学生が「カワイイ」と駆け寄ってきたり、親子連れは足を止めて「写真を撮らせてください」と子供とのツーショットをカメラに収めていた。また広報官が、声掛けた人の中には「自衛隊のことはあまり知らないけど、興味あります」と笑顔で応じてくれた人もいた。

横浜中央募集案内所は「今後も募集広報に適した場所と時間帯をリサーチしていき、色々な支援を仰ぎながら、年度の募集目標達成に邁進していきたい」としている。



若者に声掛けする広報官



キャラクター「はまにゃん」に
駆け寄る小学生



横浜市の雑貨屋さんが「自衛隊に協力したい」と、 ポスター掲示場所を提供

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原一陸尉）は、10月27日（火）横浜市中区で提供していただいたポスター掲示場所にポスターを掲示した。この場所は大棧橋の近くで、東には山下公園、西には赤レンガ倉庫と横浜の名所が集中している場所であり、観光客は勿論のこと、地元の方も通勤やジョギング、ウォーキングなどで行き交う場所である。

ご両親の代からここで雑貨とお土産屋を経営されているという甲斐拓彦様のご好意によりポスターを掲示させていただくことになった。店内で自衛隊グッズも一部販売されるなど自衛隊を応援していただいている。そこで店壁の空いている場所を是非自衛隊広報に使用してほしいと神奈川地方協力本部に連絡をいただき、掲示することとなった。今後は「液晶板での広告を提供したい」というご提案を頂き、準備を進めているところである。甲斐様からは「今、少子化で募集も大変でしょうから是非協力させてください」と温かい言葉をいただいた。

横浜中央募集案内所は「今後もポスター掲示場所の開拓を積極的に行うとともに、地域の方々との交流を深め募集成果向上を図っていきたい」としている。



提供いただいた場所にポスターを
掲示する榊山広報官



赤間広報官（左）甲斐拓彦氏（中央）
平原所長（右）